

三中だより



令和元年度 9月号（夏休み特集②）

令和元年9月12日発行
荒川区立第三中学校
（学校通信 No. 8）

作成者 校長 清水隆彦

実りの秋に向けてスタートダッシュ

校長 清水隆彦

2学期が始まってまだ数日ですが順調に滑り出したという印象です。長期休業明けは何かとペースをつかめず、つまずいたり悩んだりするケースも多いのですが、全体的には1学期末と同じ学校生活のリズムをつかんでいるように見えます。

10日に行われた生徒会朝礼では、これまでの1年間をリードしてきた生徒会役員、各種専門員会委員長から様々な指示が出されました。第三中学校の落ち着いた雰囲気を持続できているのは、生徒会役員を中心とする生徒との自治活動による力が大きいと常々感じているところです。生徒会朝礼の最後には、これまでの労をねぎらい全校生徒から盛大な拍手が贈られました。



9月は20日（金）に連合体育大会（江戸川グラウンド）、21日（日）に汐入東小学校の運動会（三中ボランティア生徒が参加予定）、24日（火）、25日（水）中間考査、27日（金）に生徒会役員選挙、第1回新入生保護者説明会と9月だけでもたくさんの行事が行われます。

この時期は、運動会のリレーゾーンのように学校全体の中心がいよいよ3年生から2年生にバトンタッチされていきます。夏休みから戻ってきた生徒が早くもペースをつかみ、実りの秋に向けて走り出したという印象です。今学期、様々な場面で活躍する三中生の姿が楽しみでなりません。

夏休みも盛況 学校図書館

学校司書 西岡 薫

今年度も学校図書館は、8月の区役所閉庁日を除く平日は毎日開館しました。朝早くから多くの生徒が来館し、貸出し冊数737冊、生徒利用人数は、のべ1,115名にもなりました。

今年度は、夏季補充教室が図書館で開催されたこともあり、調べる学習コンクールに熱心に取り組む生徒の姿が多くあったのが印象的でした。毎朝8：30分の開館とともに来館し、部活が始まるまでの時間を有効活用して勉強に取り組む生徒、お弁当を持参して生活のリズムを整えながら勉強をする生徒など、学校図書館という場を活かしながら、生徒が自らの課題に取り組んでいました。また学校図書館にある本や新聞、タブレットPCをそれぞれの特性を上手くとらえ、課題解決に活用していました。

夏休みの開館に際しては、今年度もPTA一人一役担当の保護者の方にもご協力いただきました。生徒たちを見守っていただき、ありがとうございました。



【朝、開館時から生徒でいっぱいの学校図書館】



【タブレットPCと書籍を併用した調べ学習】



「汐入水辺フェスタ」ボランティア活躍（9/8）

9月8日（日）に都立汐入公園で多数の区民の皆様が参加する「汐入水辺フェスタ」が開催されました。本校からは多数の防災部ボランティア生徒や吹奏楽部が参加しました。

開会セレモニーでは、隅田川沿いのスペースで吹奏楽部がオープニング演奏を行いました。吹奏楽部

が日頃の練習成果を十分に発揮し、迫力ある演奏が汐入公園や隅田川に響き渡りました。

また、ボランティア生徒17名は、スタンプラリー、折り紙、防災ゲーム、景品渡し等のお手伝いをしました。



荒川区中学校防災部釜石市等被災地訪問(8/1~2) 本校代表の2年生江森 翼君、飯野 愛央さんが報告会で活躍 (9/2)

今年度も荒川区中学校防災部釜石市等被災地訪問が8月1, 2日に行われました。区内の全中学校より男女各1名の参加者を募り、10校より20名の生徒で団を構成しました。本校からは2年生の江森 翼君 飯野愛央さんが参加しました。事前学習会を重ね、8月1日に被災地へ向かいました。第1日目は、宮城県南三陸町の旧防災庁舎で献花を行い、最も被害の大きかった鶴住居地区を見学しました。2日目には、朝の散歩で防潮堤を見学し、その後、釜石市立釜石東中学校の生徒と意見交換会を行いました。地元の中学2年生との交流は学ぶことがたくさんあり貴重な体験となりました。

訪問後の事後学習会では、訪問先で学んだことをまとめ、9月2日(月)に西川太一郎荒川区長をお迎えし、ゆいの森あらかわにおいて釜石市等被災地訪問報告会が行われました。鶴住居地区で学んだことを紹介する班、釜石東中学校との交流を紹介する班、荒川区の防災活動について報告する班等、立派に発表を行いました。最後に訪問団全員で「いつか この海をこえて」という釜石東中学校で大切にされている合唱曲を披露しました。発表会后、派遣団を代表して江森君、飯野さんがテレビインタビューに答えるなど大活躍しました。

※報告会の内容につきましては、本校の輝汐祭で江森君、飯野さんが発表します。



【派遣団全員集合】



【報告会の様子】



【スライドを使い報告】



【合唱：いつかこの海をこえて】



【インタビューに答える江森君】



【体験を語る飯野さん】

第2学年 勤労留学を行いました（7/22～26）

5日間にわたって行われる職場体験である勤労留学は、丁度中学校生活の折り返し点であるこの時期に行われることに大きな意義があります。プチ社会人を経験することで今の自分に何ができて、何が足りないのかを体感することができるからです。足りないところを感じることは、次に向けた目標を知ることであり、気づきとなります。考えたり工夫したりすることは、教科の学習にも生きていきます。

5日間連続の職場体験は、文部科学省の大きな目標値であるものの全国的には実施率が低く、都道府県別のトップである東京都でさえ実施率30%程度です。荒川区では平成18年度よりすでに14年間、5日間職場体験（勤労留学）を実施しています。なかなか実施できない理由として受入事業所の開拓が難しい、職場体験の成果を学校生活に生かせない等、様々な理由があるのですが、本校では商店会長様をはじめ多くの地域の皆様のご協力があり、体験先を確保することができています。本当にありがとうございました。また、学年の教員と進路指導主任の連携も光りました。勤労留学を終え、1段階大きく成長して帰ってきた2年生でした。

『2年生 勤労留学』

勤労留学担当教諭 大島 茂

7月22日（月）～26日（金）の5日間、2年生は職場体験「勤労留学」を行いました。進路学習の一環として総合的な学習の時間を利用し、さまざまな準備を進めてきました。受け入れていただいた事業所の数は54カ所にもなります。地域の皆様にはあらためてお礼申し上げます。

本校ではこの取り組みの目標を「望ましい社会性・勤労観・職業観を育成すること」としています。具体的には（1）働くことを通して、社会性を身につけ、勤労の喜びを知ること、（2）働く喜びや苦勞を知り、働くことの意義を理解し、将来への見通しをもって進路選択ができるようにすること、（3）将来、自分が就きたい職業についての意識を高めること、（4）職場（大人）の方々とのコミュニケーションスキルを学ぶこと、（5）進路への興味や関心を高め、日常生活を充実できるようにすることとしています。

生徒たちに職種の体験希望調査をしたうえで事業所を決定し、自己紹介シートを書いたり、事前学習として職業について調べたり、事業所への経路を調べたりしました。さらに、職場で守るべきマナーの学習をしたり、NHKの番組「にんげんドキュメント」の職場体験を扱った映像をみて考えを深めたりしました。日を追うごとに、職場体験への意識が高まりました。

実際に体験期間が始まり、学年の教員が様子を見に行くと、どの生徒も一様に真剣なまなざしで仕事に打ち込んでおり、かえってこちらが緊張してしまうほどでした。校内で見るときはまたちがった表情が見られ、とても頼もしく感じられました。

生徒たちにとって、貴重な体験であったと思います。大人や仕事に対する見方が変わったかもしれません。この経験が日頃の生活につながることを期待しています。保護者の皆様には期間中、お弁当作りなどご協力いただきありがとうございました。



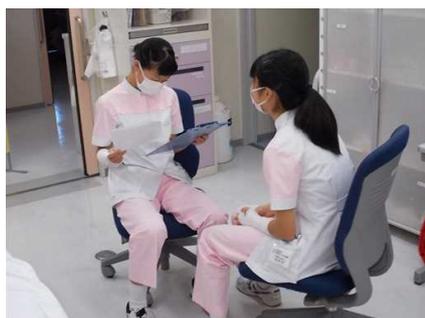
【マクドナルド】



【ファミリーマート】



【都営バス】



【リバーサイド病院】



【サミットストア】



【南千住図書館】

部活動報告（1学期後半～夏休み中の様子です）

部活動名	顧問名	活動状況および顧問のコメント
バドミントン部	青木大野	<p>令和元年6月23日（日）荒川区中学校バドミントン 夏季総合体育大会 男女個人戦 女子ダブルス 第2位 深尾日向子・國弘一葉</p> <p>令和元年6月30日（日）男女団体戦 女子…第1位 団体戦メンバー（男子）：河田遼太、金田涼平、有田直輝、小平蒼生 鈴木船之介、矢部凱一 団体戦メンバー（女子）：深尾日向子、小郷美咲、大澤朱璃、小野寺香帆 志村春香、土屋佳鈴、國弘一葉、土屋明莉</p> <p>令和元年7月13日（土）団体戦 東京都中学校バドミントン Cブロック夏季総合体育大会 女子…第5位（都大会出場） 団体戦メンバー（女子）：深尾日向子、小郷美咲、大澤朱璃、小野寺香帆 志村春香、土屋佳鈴、國弘一葉、土屋明莉</p> <p>令和元年7月14日（日）個人戦 女子ダブルス 第2位（都大会出場） 深尾日向子・國弘一葉</p> <p>令和元年7月23日（火）団体戦 東京都中学校バドミントン 夏季総合体育大会 女子…2回戦（ベスト16） 団体戦メンバー（女子）：深尾日向子、小郷美咲、大澤朱璃、小野寺香帆 志村春香、土屋佳鈴、國弘一葉、土屋明莉</p> <p>令和元年7月24日（水）個人戦 女子ダブルス 第3位（関東大会出場）…深尾日向子・國弘一葉</p> <p>令和元年8月7日（水） 中学校バドミントン 夏季総合体育大会 関東大会 個人戦 女子ダブルス…深尾日向子・國弘一葉</p> <p>-----</p> <p>〈顧問コメント〉 期末考査前という忙しい時期の中でも勉学と部活の両立を果たし、団体戦では一人一人が活躍することができました。一生懸命に試合をする姿や全員が声を出して応援をする姿は、三中のバドミントン部が一つになった瞬間でした。三年生としての最後の試合、個人戦、団体戦ともに一人一人が全力を出し切り、有終の美を飾れたと思います。 また、女子団体戦では『都大会出場』、女子個人戦では『関東大会出場』という素晴らしい成果を上げることができました。この頑張りを是非、進路の実現に向けても発揮してくれるよう願っています。</p>
水泳部（臨時）	傳田高倉	<p>令和元年8月25日 荒川区民大会水泳競技会 女子中学生50M自由形3位 大場 栞 男子中学生100M自由形3位 有田 直輝 女子中学生50M背泳ぎ優勝 志岐 華香</p> <p>-----</p> <p>〈顧問コメント〉 今年度の水泳部員は3名ですが、3年間継続して猛暑日も雨天でも水泳に打ち込んできた選手たちです。自分の強みを伸ばし、中学校生活最後の区民大会で、全員が入賞を果たすことができました。この経験を糧に、これからも何事においても前向きに取り組んでほしいと思います。この3年間、本当にお疲れさまでした。</p>
サッカー部	加藤浅香	<p>令和元年8月24日 新人戦 シード権大会（サッカーの部）</p> <p>-----</p> <p>〈顧問コメント〉 新チームになり、部員が1名となってしまいましたが、荒川第五・第七中学校と合同チームを組んで夏休みの間も合同練習を行ってきました。サッカー技術の向上は当然ながら、挨拶などの礼儀や他校と協力すること、チームメイトのプレーに声掛けをするなど技術面以外のトレーニングもたくさん行ってきました。 シード権大会では技術や体力の差で大敗してしまいましたが、多くの課題が発見できたことが収穫です。9月になると新人戦が始まります。それまで精神面や技術面などの向上を目指し、日々練習に取り組みます。</p>
卓球部	齊藤（隆）大島	<p>令和元年8月25日（日） 荒川区民大会卓球大会 中学女子 第1位 大貫夢奈 第3位 楠本きろろ 第2位 南里海佑 第3位 平澤未菜</p> <p>-----</p> <p>〈顧問コメント〉 成果として一つ結果を得られたことは、とてもよかったと思います。より一層練習に励み都大会を目指しましょう。</p>

【お知らせ】

※しばらく子育てに専念するためお休みされていた馬場みき栄養士が、8月1日より職場復帰しました。どうぞよろしくお願いいたします。

※9月20日（金）江戸川区陸上競技場で荒川区立中学校連合体育大会が行われます。開会式9：30です。